夕刊 磐城新聞
四月十一日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾錢（郵稅拾五錢）
廣告料 普通欄 金六拾錢 特別欄 金九拾錢 五行十二字詰一行一回（場所指定一行卅錢增）
編輯印刷兼發行人 遠藤龍顯 福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞社 登錄交付電略（タイライワキ） 平局私書函第十二號 電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

新興映畫の展望

—（6）—

河田正樹

今暫くソヴエット。ロシアの映畫現狀を瞥見して見る、映畫だ、自分が生きて行くためには當然その奴隷とならねばならぬ外的勢力から、己れを解放することの出來るのは、唯資本主義の抗爭を除去し、新しい社會的根底の上に確定された經濟制度の獨立に於てである。そしてその制作の新しい手段の範圍が廣汎となるに從つて力强い中央集權主義の必要が缺くべからざるものになつて來る。映畫が主義の横大强化に適しその實際的結果が理論的原則と一致する事を知つたソヴェット共和國の人民敎育委員會は映畫の獨占權を掌中に歸つて了つた、かくして一九二五年には完全に映畫の製作手段と興行手段が中央集權となつた。

現在に於ては理論とイデオロギイは次の方法で効果的に映畫の製作に參與してゐる。『ソヴエット映畫は、中央政府の煽動及宣傳機關ならびに各敎化委員會によつてその內容を決定しなければならない』といふレエニンの言葉によつて、製作せんとする映畫のテーマのプランは毎年ソフキノ及レペルトアル管理中央委員會（人民敎育監督部の一部、日本の文部省社會敎育局に該當する）の場合によつて決定されるのである、このプランは目的として群衆を感動せしめ、敎育し、敎化するにある、從つて、一つの映畫のテーマを作り上げるに當つては、ホリウッドではどうしたら百パーセントの利潤を得るかを考慮するに反して、モスクワに於ては一つの作品の廣い意味に於ける敎育的文化的收穫を勘定に入れるのである。そして、このプランに從つて、時代の要求に適ふところの色々の違つたジャンルの映畫を製作するのである

ソビエット・ロシアの映畫は、總ての社會主義の建設に關聯して、ブルジョアジイの餘燼と衝突し爭鬪するところの、この新らしい生活を表現し、且つ〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇先入觀念乃至習俗を打破することを目的とするのである

現在ソヴエットの映畫界は三人のシネアストによつて支配される——エイゼンシュテイン、プドフキン、ヴェルトフ——これはソヴエット映畫界の最も活氣あるアンサンブルである、今重なるソヴエット映畫界のシネアストとその作品を列擧すれば、ソフキンに屬する人達には、エイゼンシュテインに『ストライキ』『ポチョムキン』『十月』『全線』。ロオムに『轍』『地下室に三人』『死の入江』『歸らざる幻』。クレショフに『ドウラレックス』『女ジャナリスト』ヨセフィル・シュウブに『十年間』『ロマノフ家の最後のもの』。タリイツチに『大尉の娘』『イヴアン皇帝』ETC。

メジュラブポムに屬する人達には、ヴエルトフに『キノ・プラウダ』『第十一年』『第六大洲』『レエニン死後一年』『カメラを持つた男』。プドフキンに『母』『聖ペテルスブルグの最後』『アジアの嵐』。プロトザノフに『レストランのガルソン』『三百萬弗事件』『一件書類第五八三九號』。エッグルトに『熊の結婚』。ETC

雀

（童謠詩）　山口正夫

雀が一羽
とびだした
芒の光る
穗の先を
一羽とんで
また一羽
あとの雀が
くびだした
野は薄月の
さしながら
一羽か二羽か
ころばかり

ラヂオ

……十二日（日曜）……

仙臺 JOHK

△九、〇〇 九、一〇A 氣象通報
△九、一〇 九、三〇A 榮養料理 鯛和肉（ランツワウ）榮養研究所
△九、三〇 一〇、〇〇A 子供の時間（お話グランク仕掛の玩具）テキスト一六ページ 藤五代策
△一〇、〇〇 一一、〇〇B 修養講座（融合と生長の源理）武內了温
△一一、〇〇 一一、四〇A 講演（我國上代に於ける疫病の話）山崎佐
△正午A 時報 氣象通報 今日午後の番組豫告 告知事項
△後〇、三〇 〇、四〇A 全國ニュース
△〇、四〇 一、〇〇A 獨唱（獨唱）川崎豐
△一、〇〇 一、二〇A マンドリン（獨奏）中桐朝彥（ピアノ伴奏）君島愛子
△一、二〇 二、〇五A 浪花節（淺妻船）妻川歌燕
△二、〇五 二、三五L 幸若舞（安宅）
△二、三五 三、三〇A 映畫物語（白魔）運動競技（野球試合狀況）戸塚グラウンドよりロスアンゼルス對稻門戰
△六、〇〇 六、三〇B 子供の時間 春の行進曲（花テキスト）二二ページ BK コドモサークル
△六、三〇 七、〇〇A 最新自然科學講座（發明と日本の文化）（二）小野俊一
△七、〇〇A 全國ニュース（官廳ニュースを含む） 氣象通報 告知事項 番組豫告
△七、二五 八、二五A 放送劇（愛よ人類と共にあれ）日本畫 原作脚色 村上德三郎
△八、三〇 九、〇〇B ジャズ 大阪シャズバンド
△九、〇〇 九、三八B 大衆物語（文久奇聞松五郎捕物帳の內）一發の銃聲 三栗島狹衣 音樂係數名
△九、四〇A 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項

4月11日

△江戸城明渡し（明治元）△昭憲皇太后崩御（大正三）△孔子歿す、年七十三、道敎永く東洋道德の基礎をなし日本國体と合致して益々光輝を放つ（紀元前四七九年）

時代警句（石漱）

〇自分で自分の馬鹿を承知してゐる程尊く見らる事はない。此自覺性馬鹿の前にはあらゆるえらがり屋が悉く頭を下げて恐れ入らねばならぬ、當人は昂然として吾を輕侮嘲笑してゐる積りでもこちらから見ると其昂然たる所が恐れ入つて頭を下げて居る事になる……（我輩は猫である）

拈華微笑

踏んだり蹴つたりの好適例。量を減らして値下げする鐵道納炭
◇
權利義務の境論が出來る斤先堀りに就て當局が法律關係を研究
◇
公園などでは自重一番所謂精神火災消防の範を示して頂き度い
◇
銀貨ばかりだと思つたら新聞社員の贋が出來た物騷な世の中
◇
あすのお花見に老、若、男、女のオンパレード

一日一禪

○驀然鐵棒如風至
失卻從前眼裏花

元祿名妓傳

講談　小邑井小巴演　（宮野恒彥畫）

四十四席

お照と宗一が、益千代を殺さうと計つて、寢込んだ其お話は何うなるか、間へちよつと割込んで、申上ねばならぬ事がある、此の晩長助爺いは、風呂へ行つて留守、何時までも戻つて參らない、何で戻らぬか……

長助が坂本の風呂から歸つて來ると、往來ばたに待受けてゐたのは、若黨平助市內の兩人平『待つてゐた長助さん』長『ヤア是れは平助さん市內さん』平『實はお前に馳走しようと思ひ、內々聞いて見ると、風呂へ行つたと云ふ、家へ入つて終つては呼出しにくい、寄合つて一杯やらうてへので待つてゐた、一所に部屋へ來ねへ』長『それは何とも有難い、今夜はチト用がありますから、又にお願ひしませうか』平『そんな付き合のねへ事があるものか、俺達は若旦那樣の家來、お前はお孃さまの身內の人だ、是から仲良くして貰はにやなるめへ、切角待つてゐたのに斷はる法はねへぢやねへか氣持よくお出でなせへ』長『ホイ理屈を言はれては一言なし、夫では切角でございますから、お辭義なしに參ります』平『然うの位ちやねへ行きねへ行きねへ』

兩人は長助を引つ張つて、自分達の部屋と定めてある古家へ來る然るに來て見ると、馳走すると言ひながら平助市內一升の酒の用意もなく、肴一つ出て居るでは無い、長助變だと思ひながら長『はゝゝゝゝ何の御馳走だか、是りや老人を擔がしつたのか、惡い冗談だ』平『オットゝゝ擔いだでも冗談でもねへ、今に前さんの驚くやうな御馳走が出る待ねへゝゝ』と云つてゐるうちに、市內バタゝゝ裏表の戶を立て、嚴重に締りをする樣子、愈々不審と長助爺イ、立たり居たり虛路々々まなこでゐる平『オイ長助据りねへ』と言葉が荒ッぽくなつた長『何だねお前さん方、妙なことをするでねへか』平『何が妙だ、妙なことはおまへの方にある』長『冗談ばかり仰しやつて……』平『イヤ冗談でねへおまへ達には妙なことがある、能く取たゞせと、若旦那樣から御沙汰があつた、今夜は只の平助市內でねへ若旦那樣の名代だ、隱したつて駄目なことだから何もかも洗ひざらひ喋つて終いねへ』長『何を仰しやることやら、長助には譯が分りませんで……』平『白を切つても最う駄目だと言つてるぢやねへか、此處へも泊りに來るがお前達仲間の彼の宗一てへ野郎、口ではた孃さまの兄だと言つても彼奴色男に違ひねへ、何うだ長助さうだらう』長『ヽレツそんな馬鹿なことが……』平『コン畜生、人を皆だと思つてゐやがる、市公長助をふん縛つて引つ叩け』市『よし來た、是りや面白くなつて來た』何の面白いことがあるものか市內は飛掛つて取押へる長『あ痛たゝゝゝ、お前方はこの老人をどうする積りなのだ、誰か來て呉れ』と云つて居るうちに後手に縛り上られてしまつた平『老人も若い者もねへ、太い奴は太い、細い奴は細いだ、サア宗一の身の上を白狀しろ、言はぬとあれば叩き殺してもよいと若旦那樣からの仰せ付だ、何うだ長助、宗一はたてるさんの色男に違ひあるめえ』長『途方もない、そんな言ひ掛りを、繩を解いてお呉れ』平『野郎言ひ掛りだとぬかしやがつたな、こんな太い奴はありやしない、白ッぱくれやがつて、宗一の樣なろくでなしのお餘りを若旦那に差上る、（勿體ねへと云ふことを知らねへか、其上ならず宗一を、一つ家引寄せるとは、愈々太さに輪を掛て來やがつた、夫れを知らずに居るやうな若旦那樣ではねへ、油斷ならねへお前達三人、篤と調べて白狀すればよし、何處までも白を切つたら、殺して終つても構はねへとの仰せサアどうだ長助之れでもか〳〵』兩人打寄つて木刀の雨あられ、六十近い爺い長助、ヒイ〳〵と悲鳴を上る……。

明日の吉凶

舊曆二月廿五日　新曆四月十二日

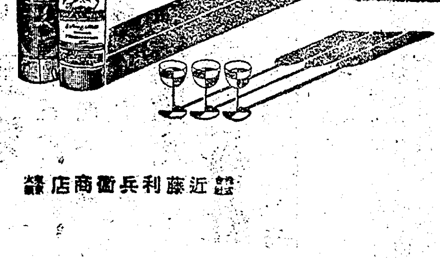
▲一白の人 物事自分の意志と反對に走り易き齟齬の日▲二黑の人 洋中に漂よふ船の如くに終日を過ごすべき日▲三碧の人 因循にて何事も決せず無爲に終る厄な日▲四綠の人 進路を誤らんとする日落ち付くが安全なり▲五黃の人 進退自由を失はんとす危險に近付かぬが吉▲六白の人 比較的に勞苦多けれど其效果は後日に現る▲七赤の人 氣心に變動の起こり易き日何事も靜かに守れ▲八白の人 憂き事喜び事兎角變化の生じ易し油斷するな▲九紫の人 秩序を正しうして着々と進めば相當に發展す

タイラデ一バンヤスイ
●學帽は十五錢より
●ランドセルは八十五錢より
●カバン 勿論格安品許りです
モリタヤ洋品店 5丁目 電353

ガス入電球ノ値下ゲニ次グ又値下ゲ
十燭以下十二錢…五十燭マデ十八錢
御電話ガアレバ屆ケマス。
平三 大谷時計病院 眼鏡科 電話十九番

高久病院 平町田町（電話五一三番）
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
內科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

蜂ブドー酒
保健のエッキス 蜂の一杯に滿つ
近藤利兵衛商店



專門 一般內科
內科ハ何デモ診療致シマス 呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話一八一番）
川井內科診療所
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

貸切の御用命は皆樣のタクシー！それは乘心地にナンバーワンのイワキタクシーへ
驛前 イワキタクシー 電五六九番

一圓十錢のフランス マルソー會社元詰 生葡萄酒
マルソー、ブランク マルソー、ルージ
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二 西村屋藥店 おはなし三番

內臟外科 外科一般 花柳病科
入院隨意 自炊の便あり
安齊外科醫院
平町田町赤心堂病院跡（電話四三六番）
看護婦募集

貸切は●●
親しみあるサービスを以つて知られたる！
尼子タクシーへ
電六四〇番
主任 澤正路

御眞影奉還
けふ濱三郡の各小學校から

濱三郡各小學校百十校の御眞影奉還は今十一日朝一先ず磐中に還しまゐらせ樫村平署長以下警官數名各校代表者が御警護申上げ平驛發午前十一時十八分で津田山口野口各視學井上縣屬外多數警官により奉還されたが新御眞影は十九日午後三時五十分平驛着直に磐中にお遷し申し上げ翌二十日午前七時半各校に下賜さるると

地方の景氣を動かす 鐵道納炭內定
噸當り平均一割五分値下げ 百三十萬圓の減收平

鐵道納炭の價格數量は之れを最大唯一の得意筋とする各炭礦に直接大影響を齎すと同時に地方一圓の景氣に至大の關係を招徠するので其の成りゆき如何は非常な注意を以つて迎へられてゐたが鐵道省と各會社との意見一致せず二ヶ月間に亘り折衝を重ねた結果今回はゞ確定するに至つたので近く之を公表する筈である賣買價格については極秘にされてゐるが昨年より九圓臺は一割七分八圓臺は一割五分五厘七圓臺は一割四分平均一割五分引きの噸當り八圓五六十錢見當で双方の主張の中位を採つてゐる鐵道省本年度の購入數量は前年より三十萬噸を減じたる三百十萬噸で常磐各社への割り當ては六十五萬噸で前年から六萬七千噸の減少であるから數量の減少と價格の引下げとで被る常磐各社の減收は實に百三十萬圓以上の巨額に逹するわけである

常磐鑛長會
今日尼子亭で

常磐炭鑛月例鑛長會は今十一日午後二時から平町公園尼子亭に於て開催鐵道納炭內定に關する對策その他に就て協議する處あつた出席者次の如し

（兩島）菊地 （古河）湊谷 安孫子 （磐城）菅原、筒井 （入山）吉田、大貫（大倉） 尾藤（大日本）中村

勞務會議 常磐各社勞務會議は二十四日午前十時から尼子亭に於て開催するが當日は中央に於ける勞働問題及思想方面の研究者小林五郎氏の講演あると て協議する處あつた

斤先掘りの權義關係
法的認否に就て協議に附さる

最近常磐炭界の各所に於て行はれてゐる斤先掘は飯場頭又は炭坑主任等に炭坑を貸付け採炭量に應じて賃料を徴收するもので經營者の異動により坑夫の整理、賃銀の切下を容易に行ひ得るところから生產費の低下となり坑主は相當の賃貸料を上得る一方借主も利ぢゆんを得るわけで北海道、築豐、常磐各地に實施され常磐の如きは上田、筒井、長谷川、高萩等を始め十ケ所見當その出炭量合計七萬見當に逹してゐる然して斤先掘制度は右の如く各地に增加してゐるが現在法律的に認められてゐないため鑛業權者と借受人との間の權義も不明確にてまゝ係爭を生じ易いので十日商工省の鑛山監督局長會議に於てこの斤先掘制度の法律否認について目下取調べ中

春宵エロ噺
在大阪 影法師 (1)

エロ噺は先づカフエーから。

春風そゞろに吹き一日の勞苦を忘れんがためにペーヴメントを蹴る。若芽萌るプラタナスの蔭からヌツト出た白い手から一枚の撒切を受取る。

エロ、エヽ、エロ、サービス
春は先づ美女と酒から
若人よ來れ！
中年紳士よ來れ！

文句はザツトこんなもので色彩豊なヌードの片足がズロースまで畫かれてゐる。

二歩、三歩、又手、手、手
花、花、櫻、櫻、滿開
美人を待して酒を酌む
春宵を享樂するには
アリゾナに限る。

京美人をめぐるに櫻花を以てしエロをあさるにマニアの心をそゝる圖案は又頗る濃厚なものである。

さて記者は幾枚かのチラシを手にしてなほも歩き續け曳かるゝまゝネオンライトの輝く扉を押した。

「いらつしやい、――靜子さん」

と言ふボーイの聲をあびてボツクスにおさまる、でなくてさへ落ち付きのない今日此頃こうした雰圍氣の中に座り込むとなにかしらエロ的になつて仕舞ふ。靜子さんと稱する美女ならざる美女は遠慮もなくエロを發散する。オチヨウシを一本二本と空にして行く每に益々發散する。

「ねーえ、姿、呑み度いのよ――ウヰスキーを……ええでせう」

彼女氏は記者影法師の膝を椅子と間違ひたか、でつかいお尻を押しつけるエロだエロだ、文字通りエロだ。エロサービス、うそぢやあない。酒に醉はざるもエロに醉はざるを得ない。彼女氏曰く

「此頃はエロの切賣もしかねませんよ。だつてチツプ丈けでは生活がたゝないんだもの――でも最初から〇〇ホテルになんか行くもんですか、而し三回位來て下すつたらそれあ話の都合よ……」

兎も角も大阪のカフエーはこの本場だけに尖端風景はこゝかしこに發見される。が故に東京から態々エロ修業に出掛ると云ふ事になる

武德會成績
昨忠魂祭當日の

昨忠魂祭式後催された石城武德會主催の銃劍道、弓道、銃劍術試合の成績次の如く劍道は好間村分區弓道は內鄉村分區優勝し優勝旗を授與された

△弓道金的正木廣造
△競射 1伊藤兵介2加藤朝清3平野井留藏4相田三次5瀨谷豊次6佐々木啓吾7高橋國太郎8日野忠兵衛9中根秀四郎10島田直意

向平町役場書記渡邊太郎氏は武德會功勞者として樫村署長から表彰された

鐵瓶を盜む
空巣覘ひ檢擧さる

平町久保町二七農安逹郡二本松町松川生れ野崎勘助（六〇）は昨十日午後八時頃平町長橋町古物商清野某方から家人不在を奇貨として鐵瓶一個價格一圓を竊取し平署で目下取調べ中

哀れ少女の轢死

赤井村大字高萩日雇業寅吉六女牛來ムツ（三）は十日午後五時頃同村福島炭礦專用線內で遊戯中疾走して來たトロに轢かれ慘死したと

好晴で無い迄も 日曜は潰れない
今夜の雨は明朝霽れる 小名濱測候所の觀測

吹く風も今迄の空つ風と異つて生まぬるく空模樣もどんよりとして之れこそ本當の花曇り。些か遲れ氣味の櫻も之の暖氣で急に咲き出す筈であるが之の模樣では大事な明日曜の天候が心もとない。處で例の如く小名濱測候所の觀測を開くと

――多分今夜から雨になる、そして明朝早く降り歇めば霽れた處ではつきりした天候にならず依然愚圖ついた空模樣である、之れが今晩から引續いて明日の午前十時頃迄も降れば其後はカラリと霽れ上る見込で何れにせよ長く降つてゐる樣なことはない

との事で幸にしてごつちへ轉んでも折角の日曜を臺なしに終る樣な事はなさそうで豫報は『雨後晴れ』とある

平署管內十九ヶ町村 聯合消防春期檢閲
總員四千名出動 恒例の壯觀を豫想さる

平署管內三町十六ヶ村聯合される消防組春期檢閲は明十二日一、服裝檢閲（午前八時一丁目より本町通五丁目迄整列）二、紀律訓練檢閲（午前九時より八幡小路グラウンド）三、ポンプ取扱、終りて中食 四午後一時より優良組員表彰、金馬簾授與式 五、署長訓示講評、警察部長訓示 六、受賞者總代の答辭、組頭總代の答辭 七、分列式、記律訓練順より終りたる組より退散の順序で擧行さるゝが總員四千餘名恒例の壯觀を豫想

優良組員 被表彰者

尚當日優良組員として表彰さるるもの次の如し

△（平）織田萬次郎、阿部章、小菅榮之助、稻島昌高木宇平、永山眞彥、片寄正壽、鈴木定一、鈴木德藏、（內鄉）草野博、鈴木彥彌、山島勝榮、小松多嘉、鈴木久彌、高木長俊、山下竹千代、（湯本）白石義雄、楢本春吉大木慶三、大竹兵造、與山雄、高木精一、矢吹正位、（磐崎）蛭田武、高木正枝、大平彌七、小泉萬亀尾、高木安太郎、磯上友治、鈴木武八郎、大和田保榮、酒井倉松、（玉川）楢本勇吉、村上一元鈴木芳之助、丹野勝海、海老根文彌、（鹿島）箱崎清、江尻意宜、鈴木良造、四家重雄、荒川恒義（小名濱）若松清、坂巻忠次、片寄健太郎、薬谷金七、小野森之助、安島應之助、馬上猛太郎、松本秀之助（江名）坂本八十吉、鈴木喬、金成政吉佐藤富治、金成幾太郎、吉田保太郎、中山貞四郎高津喜三郎、秋山俊太郎永瀨清次郎、（豊間）遠藤專、大岸菊次郎、鈴木由松、阿部春吉、志賀幸治久保木己之松、（高久）志賀金一郎、箱崎平七、薗部忠治、鈴木喜光（夏井）木田清、箱崎米藏、鈴木國保、太田清太郎、矢吹彌右衛門、鵜沼省多、鈴木定義（飯野）山田佐吉、山野邊喜一、若松與志雄山崎亀男、原野傳、鈴木良吉、鈴木武雄（神谷）木村賀重、佐藤儀三郎、志賀乘太郎、渡邊昌太郎、金成勳、木村忠直、松本光丘（平窪）小野順平、鈴木德男、阿部初彌、矢吹昌一、福田藤一郎、松崎繁、石井爲清、渡邊安明（下小川）柴崎一郎、大森直義、西山幸之丞、長澤義八、鈴木平四、高木藤嗣、根本竹次郎、草野定一（赤井）岡田新平、鈴木永一、羽賀新、吉田彙夫西山正平、平塚政義、草野嘉久（好間）大河原茂平阿部菊美、木田辰雄、遠山牧一、吉田市吉、大平國政、吉田輝保、叶多久一（箕輪）大和田捨男、柏原幸一、小沼義原（永戸）柴崎彌三郎、松崎明、阿部國領、黒川義久、薬谷喜知平（澤渡）鈴木豊太郎水野清臣、加藤鐵太郎、齊藤次男（三坂）小野亀紀大谷條藏、馬目半重郎、永山農夫男、薬谷藤五郎（優良組）金馬簾授與玉川江名、小名濱、飯野、赤井、好間、夏井、湯本、豊間

投稿 寄書歡迎
電燈料金問題

◇平町の各區長が結束して電燈電力料金の値下げ運動を起し町民大衆の負擔を幾分でも輕減せんと着々活動しつゝあるといふことは吾々無產町民にとつては今日の場合大助かりとなるので欣然讃意を表ずるものである。

◇然しながらその抱懷する値下げ理論なるものを新聞の報ずるところによつて見れば只漫然と他地方の電力或は電燈料金より高率であるから値下げすべきが至當だといふ理由以外に明確なる値下げ理論を發見し得ないのである

◇獨り電燈電力料金に限らずすべての商品は投下資本に對する收益率の如何によつてその價格が決定されるのであるから自らその生產商品價格が個々別々となり高低の差が生ずるのは已むを得ないのである。

◇斯くの如く電力會社の生產商品たる電力料金がその會社の投下資本に對する收益率によつて決定される以上甲會社が十六燭光七十錢であるのに東部電が八十錢では不當である云つた處で値下げを高調すべき正當な理由とは認められないのである。

◇この點に就てはいづれも一騎當千頭惱明斷を以て鳴る諸公であるから萬々ぬかりのあらう筈はないと思ふが老婆心ながら特に一言申上げて置く次第である。（文覺生投）

豊間淨應寺の 五百年慶讃法要
今明兩日に亘って 講演會其他の催し

豊間村淨應寺は正長二年二月十四日良可上人の開創にして清風山淨應寺と稱し回向發願の道場であるが今年は恰も開基五百年に相當するので今十一日より慶讃の大法要を嚴修するが順序次の如くである

十一日午後六時より琵琶演奏 同六時半より大講演會（講師東京傳通會舘主事鈴木積善・磐城高等女學校敎諭鈴木應善 大浦村最勝院住職阿部崇順諸氏）午後九時半より琵琶演奏十二日午前十時から童話會 午後一時から大法要午後二時より說敎及御詠歌

自動車支部總會

縣自動車協會平支部總會は十五日正午から平署會議室で開催豫算決算を協議後樫村署長より注意及指示あると

立憲養正會宣傳
平、內鄉、湯本、植田其他で 大演說會を開催

立憲養正會磐城支部では今回本部宣傳局主事小平三四郎氏仙臺支部長菊地清太郎氏を招ぎ左記日割により宣傳演說會を開き同時に盛大なる磐城支部結成發會式を擧行すると

十二日夜湯本座 十三日夜菊田座 十四日夜泉座 十六日夜聚樂館 十七日正午內鄉村昭和館 十八日午後磐崎校

贋本社員 店頭で亂暴
今後右樣の場合は早速御通知を乞ふ

昨十日午後七時頃推定年齡三十四五歲位紺サージの洋服に白つぽいレインコートを着た男がしたゝか酒に醉つて三井店頭に現れ店員の應待振りが面白くないと譯のわからぬ難題を吹つかけた上傍にあつた客用の椅子を叩きつけて破壞する亂暴に店員が氏名を問ふと『磐城新聞の鈴木を知らぬか』と捨てぜりふを殘して立ち去つたと云ふが本社には絕對該當者なきに付今後此種の怪漢が立廻つた際は其筋なり本社なりへ早速御內報を煩はし度く御願ひする

平町人事

△出生 道匠小路二三栃木縣宇都宮市押切町八三八坪山末吉長男登
△死亡 北目町一五三內藤光一（一）

廣告

芳醇無比 白馬の雪 松本德一吟醸 平電話二八五

藤沼醫院 平町紺屋町電五〇七

イヨの品 トビハナレテヤスイ文具 平マーケット

銘酒 たひら正宗
特賣 二合壜詰 貳拾錢 四合壜詰 四十錢 一升壜詰 壹圓
ヤマフル釀造元 山崎合名會社 電話一〇番

値下げ斷行
花笑ひ蝶舞ふ季節となりました皆誰方は一日の行樂山に野にカメラを御携帶寫眞をお取りに成るのも誠に樂しき事と思ひます弊店は最近大流行のカメラ優秀品を豊富に取揃へました何卒是非お買上樂しくお遊び下さい
フレックス形
富士印カメラ 附屬一揃付一圓也 特價金八十錢
ツバメ印カメラ 一個六十五錢 特價金四十五錢
五十錢カメラ 一個 特價金二十五錢
ベービーカメラ 一揃付壹圓 特價金六十五錢
片皮製ランドセル 特價一圓卆錢から
男女學生カバン 特價二十三錢から
正紺糸一把 金五錢
上白糸一把 金三錢
磐城平町一丁目 （商號豆屋） 敎育玩具雜貨問屋 森下商店

內臟外科一般 外科花柳病科 （入院隨意）
平町六丁目（橋際） 木村外科醫院 電話三〇九

お机と本箱の會
中、商、女、各學校入學祝ノ贈物ニ…
座机 1圓80錢より
高机 4圓50錢より
本箱 3圓00錢より
本立 0.15錢より
椅子 0.70錢より
學生向（椅子、テーブル組）6圓50錢
可愛イ、オ子サン方ノ爲ニ…
是非おはこびを
平二丁目 長谷川椅子店へ
（四月一日ヨリ・四月廿日マデ）

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅物 （久） 釜屋商店
磐城國平町五丁目 電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は（久）の生命なり